

【取組内容③】デジタル連絡帳～1人1台端末の家庭への持ち帰りを活用～

【実践の目的】

児童が毎日写していた連絡帳をgoogleクラスルームで作成・確認させることで、児童が連絡帳を写す時間や教師が確認をする時間を、補助学習や個別の支援の時間に充てる。

【使用したアプリ】

Googleクラスルーム

【実践内容】

- ・Googleクラスルームに連絡帳の内容を入力する。
- ・児童は学校で記載内容を確認する。
- ・1人1台端末を家庭へ持ち帰った際、保護者に内容を確認してもらう。
- ・児童の下校後、追加の連絡や変更等があった際には、編集をしたりコメント機能を活用したりする。
- ・個別への連絡は、個別宛の投稿をする。

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・児童が連絡帳を書く時間や、教師がチェックする時間を大幅に短縮することができた。
- ・連絡帳の写し間違いを防ぐことができた。

★ICT活用の仕方工夫が必要であった点

- ・家庭へのお手紙等、内容によっては連絡帳も併用する必要がある。
- ・児童の発達段階等（低学年や支援学級等）によっては、視写の練習も必要である。



10月24日 連絡帳

宿

音 自 (2ページ)

持

ソーラン節はっぴ はちまき (まだの人)

※先生今日一日いませんで、今日の予定です

1 理科 鈴木Tと続き

2 国語 教科書p42漢字の広場をノートにやる

3 体育 体育の助高跳び、その他の種目を見る

4 社会 前回決めた伝統について調べる

→ノートにまとめる

5 算数 たしかめよう

6 クラブ

ソーラン節のはっぴやはちまきを持ってきた人は明日確認するので、ロッカーに入れておいてください。

仲良く過ごしましょう！😊